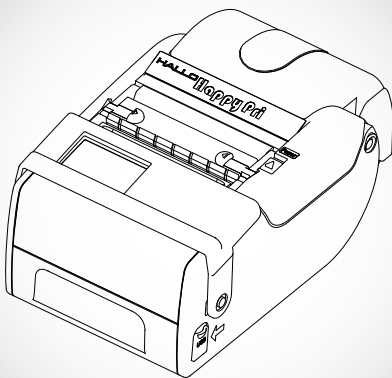


Shinsei

HALLO **Happy Pri**

本体取扱説明書



株式会社
新盛インダストリーズ

■ はじめに

このたびは、抽選機能付きラベルプリンター [Happy Pri] をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。本装置は、最新鋭のエレクトロニクス技術と卓越した経験をもとに開発されたラベルプリンターです。

ご使用の前に、本取扱説明書を充分お読み頂き、本装置を安全に末永くご使用頂きますようお願い致します。また、本取扱説明書が必要になったとき、すぐにお読み頂けますよう本製品の近くに保管してください。

■ 電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合は、使用者が適切な対策を講ずるようにより要求されることがあります。

VCCI-A

■ ご使用上のご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で転載・複製することは禁止されています。
- ② 本書の内容に関しましては、将来予告無しに変更することがありますので、予めご了承ください。
- ③ 本書は内容につきまして万全を期しておりますが、万一ご不明な点、誤りおよび記載漏れなどお気づきの点がございましたら販売店またはメーカーにご連絡ください。
- ④ 本書の内容によらないで使用したことにより発生した損害などにつきましては、一切責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- ⑤ 本装置を使用することにより、または本装置で発行したラベルなどを使用することにより、あるいは故障・修理などでデータが消えたり変化したりすることにより発生した損害などにつきましては、一切責任を負いかねますので、予めご了承ください。

■目次



1	安全にご使用いただくために	6
2	より長くご使用いただくために	10
3	本装置の確認	12
3-1	ラベルプリンター本体	12
3-2	付属品	12
3-3	オプション	13
4	各部の名称と機能	14
5	ラベルのセット方法	19
5-1	剥離発行の場合	19
5-2	連続発行の場合	24
6	ACアダプターでご使用の場合	27
6-1	ACアダプターの接続	27
6-2	ACアダプターの取り外し	28
7	バッテリーパックでご使用の場合（オプション）	29
7-1	バッテリーパックの挿入	29
7-2	バッテリーパックの取り外し	32
8	バッテリーパックの充電（オプション）	34
8-1	こんな時は、充電が必要です	34
8-2	充電方法	35
8-3	バッテリーパックをご使用になる上で	39
9	各種画面と画面表示	41
10	ラベルの発行方法	44
10-1	剥離発行	46
10-2	連続発行	51
10-3	抽選設定機能による連続発行	55
11	本体とパソコンとの接続方法	58

■目次




1 2	本体へのデータ登録方法	59
1 3	本体の設定機能	61
13- 1	発行モード切替	62
13- 2	剥離モード操作	63
13- 3	初期表示設定	64
13- 4	枚数入力表示	66
13- 5	テスト印字	67
13- 6	内蔵時計設定	68
13- 7	LCD チェック	70
13- 8	センサー波形	70
13- 9	ヘッドチェック	71
13-10	時計変更履歴印刷	72
13-11	履歴データ	73
13-12	発行開始間隔指定	78
13-13	自動電源 OFF	80
13-14	自動バックライト OFF	82
13-15	無線モジュール	84
13-16	発行済枚数	85
13-17	ナンバリング初期化	87
13-18	抽選設定初期化	88
13-19	プリンタ初期化	89
1 4	始業時および日常の点検のお願い	90
14-1	印字の点検（テストパターンの印字）	90
14-2	ヘッドチェックの実行	91
14-3	サーマルヘッドのクリーニング	91
14-4	プラテンローラと剥離ローラのクリーニング	93
14-5	各センサー部のクリーニング	94
14-6	ラベル走行路のクリーニング	94
1 5	エラーメッセージ	95
1 6	本体仕様	97

1 安全にご使用いただくために

- ◆ここに示してあります注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
- ◆本装置をご使用いただいた方や他の人々への危害や財産などの損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしてあります。その絵表示と意味は、次のようになっています。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示について

	「してはいけないこと」を意味しています。
	「気をつけるべきこと」を意味しています。
	「しなければいけないこと」を意味しています。

1 安全にご使用いただくために (つづき)

 警告

ラベルプリンター本体・バッテリーパック・
バッテリーチャージャー・ACアダプターな
どは、分解または改造しないでください。

◆破損・ショート・発火の恐れがあり、感電・火傷・
火災・故障の原因になります。



バッテリーチャージャーは、指定のバッテ
リーパック以外は充電しないでください。

◆バッテリーパックが発熱・破裂・発火する原因
になります。



ラベルプリンター本体を落としたり、ぶつ
けたりするなどの「強いショック」を与え
ないでください。

◆破損・ショート・発火の恐れがあり、感電・火傷・
火災・故障の原因になります。



ラベルプリンター本体・バッテリーパック・
バッテリーチャージャー・ACアダプターな
どに水やホコリなどがかからないようにして
ください。

◆そのまま使用すると、火災・感電の原因になり
ます。



バッテリーパックを保管するときは、金属な
どといっしょに置かないでください。

◆ショートして火災・感電の原因になります。



 注意

バッテリーパックは、長時間、充電状態で放置しないでください。



バッテリーパックをバッテリーチャージャーで充電した後は、必ずバッテリーチャージャーの電源コードのプラグをACコンセントから抜いてください。



バッテリーパックは、充電後、長時間放置すると自然放電して電池残量が減少し、動作時間が少なくなることがあります（故障ではありません）。



カバーの開放時に、サーマルヘッドがむき出しになりますので、手を触れないでください。

◆使用直後のラベルの交換時などは、サーマルヘッドが過熱していて、火傷のおそれがあります。

◆手油がサーマルヘッド劣化の原因になりますので、絶対に触らないでください。



1 安全にご使用いただくために（つづき）



注意

本装置の使用後、または長時間使用しないときは、安全のためにバッテリーパックを取り出し、ACアダプターの電源プラグをACコンセントから抜いてください。



本装置を不安定な所に置かないでください。
◆落下して、けがや故障の原因になることがあります。



指定のバッテリーパック（リチウムイオン電池）以外は、使用しないでください。

◆バッテリーパック（リチウムイオン電池）は、不要になりましたらリサイクル協力店へご持参ください。



2 より長くご使用いただくために

お取り扱い上のご注意

- ① ラベルが装着されていない状態で、ラベルの発行を行わないでください。
- ② 良好な印字品質・性能を維持するために、弊社指定のラベルを使用してください。
- ③ ラベルのサイズまたは種類を変更して使用する場合は、ラベルの設定にご注意ください。
- ④ はじめてバッテリーパックをご使用になる場合は、十分に充電してからご使用ください。
- ⑤ バッテリーパックでご使用になる場合は、一時的に使用を中断する場合でも Power スイッチを切ってください。バッテリーパックの節電になります。
- ⑥ 冷暖房機の近くや直射日光の当たる場所に放置したり、保管したりしないでください。
- ⑦ 本製品を以下の動作環境のもとでご使用ください。
使用環境温度 → + 5 ~ +35°C
使用環境湿度 → 25 ~ 80%RH
(但し、無結露状態)
保存環境温度 → - 10 ~ +60°C
保存環境湿度 → 10 ~ 80%RH
(但し、無結露状態)
- ⑧ ラベルプリンター本体には、内蔵時計を搭載していますので、定期的に時刻が合っているかどうか確認してください。

※発行画面には、常に時刻が表示されていますので、時刻がずれたら、すぐに時刻合わせを行ってください。
※詳しくは、項目 13-6 の「内蔵時計設定」をお読みください。

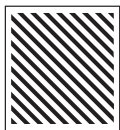
2 より永くご使用いただくために（つづき）

⑨ 項目 1 4 「始業時および日常の点検のお願い」をご
覧頂き、本装置を定期的に点検してください。

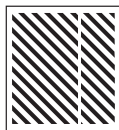
⑩ ご使用前にテスト印字を行ってください。

テスト印字は、項目 13-5 「テスト印字」をお読み
ください。

※異常パターンが印字された場合は、すぐに使用を中
止し、お買い上げ頂いた販売店か弊社までサービ
スコールをしてください。



正常パターン



異常パターン

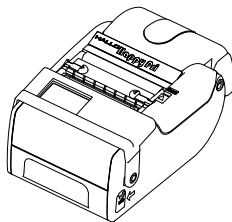
⑪ 本装置は、過度な電源ノイズによって、内蔵してい
るプログラムの設定値が変化したり破壊される場合
がありますので、印字内容が正しいことを確認して
からご使用ください。

3 本装置の確認







本装置は、ラベルプリンター本体と付属品から構成されていますので、梱包品の内容をご確認ください。

3-1 ラベルプリンター本体

(以下、「本体」と言います。)



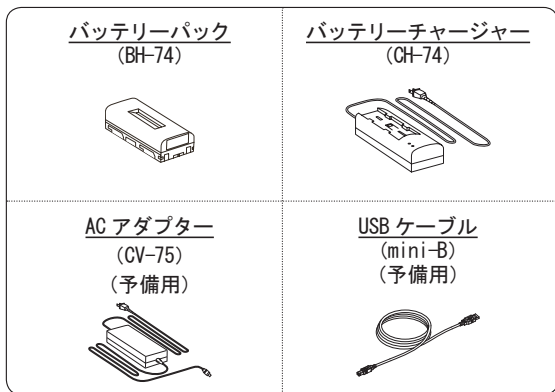
3-2 付属品

<p><u>AC アダプター</u> (CV-75)</p> 	<p><u>USB ケーブル</u> (mini-B)</p> 	<p><u>ヘッドクリーナー</u> & <u>ブラシ</u></p> 
<p><u>CD-ROM</u></p> 	<p><u>本体取扱説明書</u></p> 	<p><u>保証書</u></p> 

3 本装置の確認 (つづき)

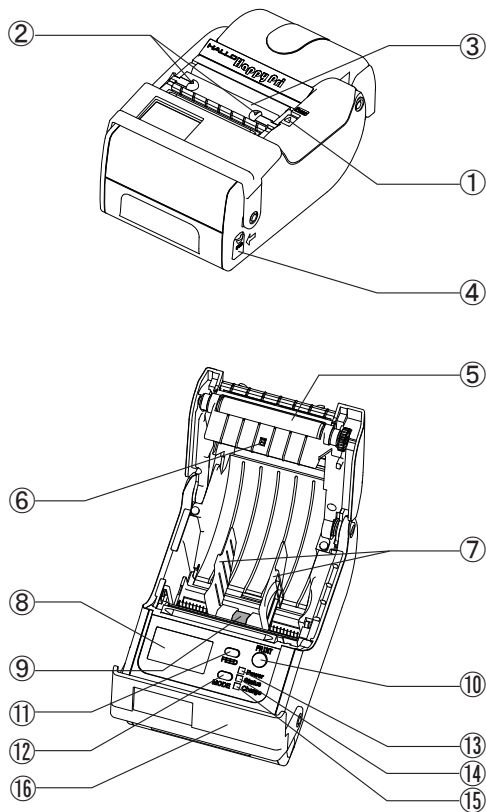
3-3 オプション

別途、ご注文ください。

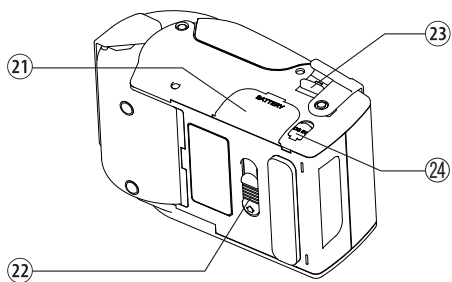
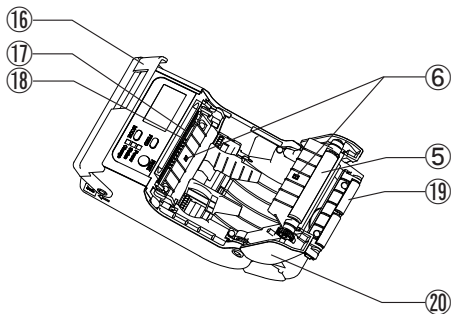


※本体を Bluetooth 仕様にすることもできます。
(工場出荷時 : オプション)

4 各部の名称と機能



4 各部の名称と機能 (つづき)



4 各部の名称と機能（つづき）

番号	名称	機能
①	Power スイッチ	電源を入 / 切します。
②	剥離フレーム 開放レバー	剥離フレームのロックを解除して剥離フレームを開きます。
③	剥離フレーム	印字されたラベルを台紙から剥離させます。
④	USB 用 コネクターカバー	このカバーを開いて、パソコンと接続します。
⑤	プラテンローラー	ラベルをサーマルヘッドと挟んでラベルを発行します。
⑥	ラベルセンサー	ラベル位置を検出します。
⑦	ラベルホルダー	ラベルをガイドします。
⑧	LCD	日付表示やデータ名などを表示します。
⑨	ストッパー	ラベルホルダーを開いた位置で保持します。

4 各部の名称と機能 (つづき)

番号	名称	機能
⑩	PRINT キー	<ul style="list-style-type: none"> ◆発行画面でラベルを発行します。 ◆データ選択画面でデータを保存して発行画面に戻ります。 ◆設定画面 1 または設定画面 2 で選択項目を保存して発行画面に戻ります。
⑪	FEED キー	<ul style="list-style-type: none"> ◆発行画面で白紙ラベルを発行します。 ◆データ選択画面でデータを選択します。 ◆設定画面 1 および設定画面 2 で設定モードの選択を行います。 ◆長押し (約 5 秒) すると、ラベルセンサーの自動調整を行います。
⑫	MODE キー	<ul style="list-style-type: none"> ◆発行画面をデータ選択画面に切替します。 ◆長押し (約 5 秒) すると設定画面 1 に切替します。 ◆データ選択画面でデータを保存して発行画面に戻ります。 ◆設定画面 1 で設定画面 2 に切替します。 (LCD チェック、時計変更履歴印刷を除く) ◆テスト印字の設定画面 2 でラベルを発行します。

4 各部の名称と機能（つづき）

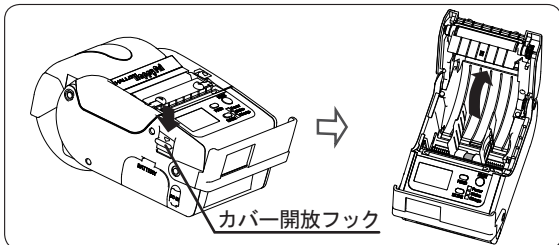
番号	名称	機能
⑬	Power LED	電源が入ったときに LED が緑色点灯します。
⑭	Status LED	各種エラー表示したときに LED が赤色点灯します。
⑮	Charge LED	AC アダプターで充電しているときにオレンジ色点灯します。
⑯	操作パネルカバー	ラベル発行ボタンだけの操作パネルに切り替えます。
⑰	サーマルヘッド	ラベルに印字をします。
⑱	剥離センサー	剥離されたラベルの有無を検知します。
⑲	剥離ローラー	剥離発行の場合に、台紙を発行口へ排出します。
⑳	カバー	ラベルを着脱するときに、開閉します。
㉑	バッテリーパックカバー	バッテリーパックの収納部をカバーします。
㉒	バッテリーパック取り出しフック	バッテリーパックを取り出します。
㉓	カバー開放フック	カバーロックを解除してカバーを開きます。
㉔	DC 入力端子	AC アダプターの DC 出力端子と接続します。

5 ラベルのセット方法

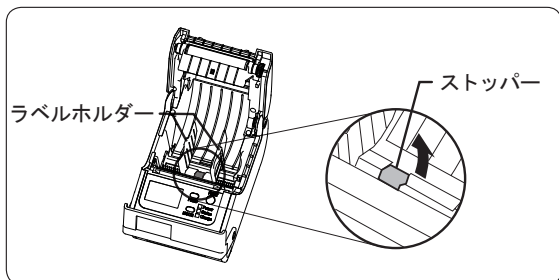
本体は、剥離発行と連続発行ができます。それぞれの場合に合わせてラベルをセットしてください。

5-1 剥離発行の場合

- ① カバー開放フックを押し下げて、カバーを開きます。



- ② ストッパーを上を持ち上げて、ラベルホルダーをラベルの幅に合わせます。幅に合ったことを確認したら、ストッパーを下げてロックしてください。

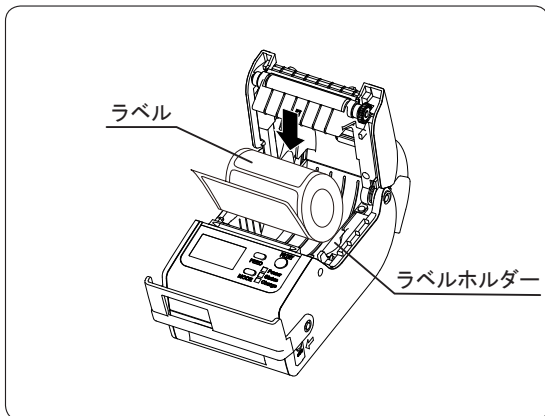


⚠ 注意

ストッパーを上げないと、ラベルホルダーは動きません。

③ 図のように表巻きラベルをセットします。

収納できるラベルサイズは、項目16の「本体仕様」をお読みください。



⚠ 注意

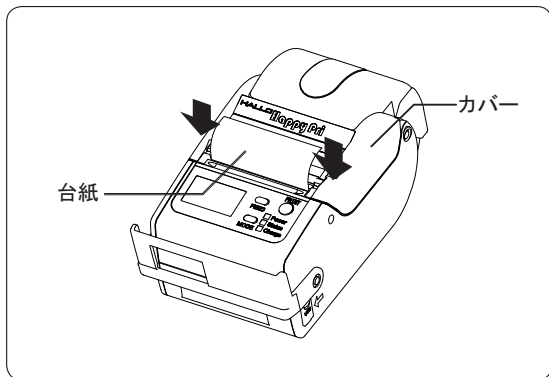
カバーの開放時に、サーマルヘッドがむき出しになりますので、手を触れないでください。

◆使用直後のラベルの交換時などは、サーマルヘッドが過熱していて、火傷のおそれがあります。

◆また、手油がサーマルヘッド劣化の原因になりますので、絶対に触らないでください。

5 ラベルのセット方法 (つづき)

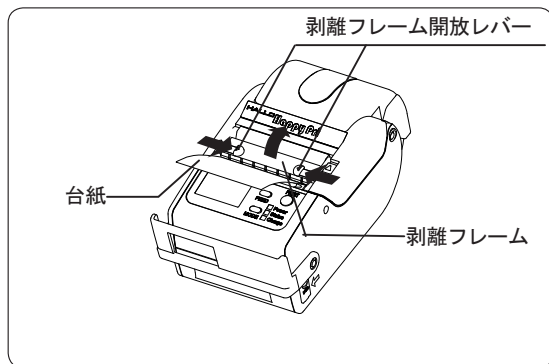
- ④ 先端のラベルを2～3枚取り除き、台紙だけの状態のまま手前に引き出し、矢印のようにカバーの両端をカチャッと音がするまでゆっくり閉めてください。すると、カバーが固定されます。



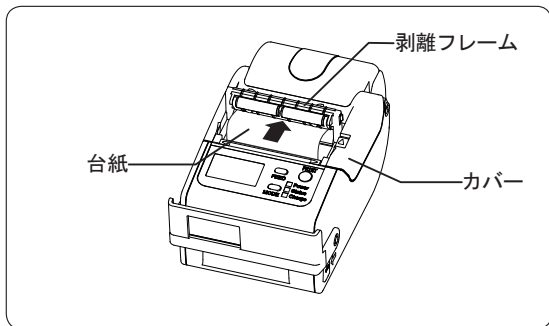
⚠ 注意

- ◆ カバーを勢いよく閉じると故障・破損の原因になります。
- ◆ 手を挟まないように注意してください。

- ⑤ 両側の剥離フレーム開放レバーを内側にスライドさせて持ち上げるようにすると、剥離フレームが開きます。

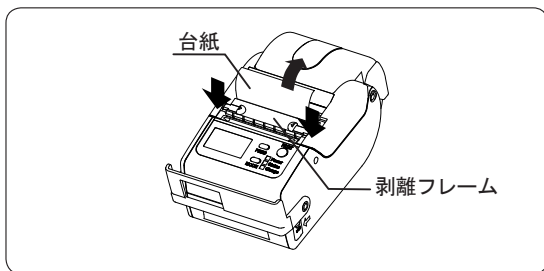


- ⑥ 台紙を矢印のように開いた剥離フレームとカバーの間に通します。



5 ラベルのセット方法 (つづき)

- ⑦ 台紙がたるまないように軽く引っ張りながら、剥離フレームをカチャッと音がするまでゆっくり閉めてください。剥離フレームが固定されます。

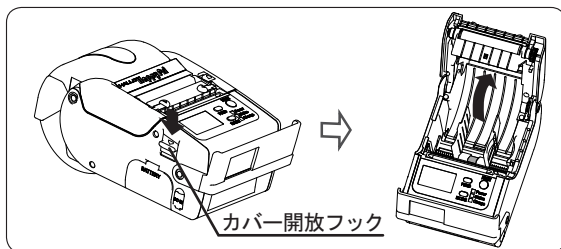


⚠ 注意

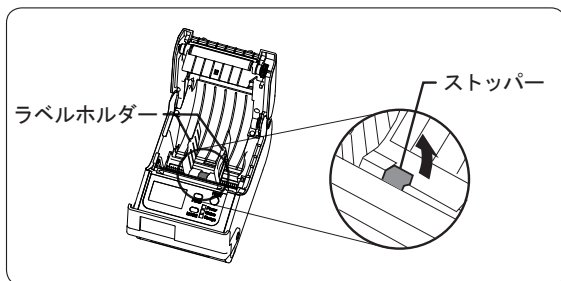
- ◆剥離フレームを勢いよく閉めると故障・破損の原因になります。
- ◆手を挟まないように注意してください。
- ◆剥離フレームを閉める時に、台紙がたるまないようにしてください。

5-2 連続発行の場合

- ① カバー開放フックを押し下げて、カバーを開きます。



- ② ストッパーを上を持ち上げて、ラベルホルダーをラベルの幅に合わせます。幅に合ったことを確認したら、ストッパーを下げてロックしてください。

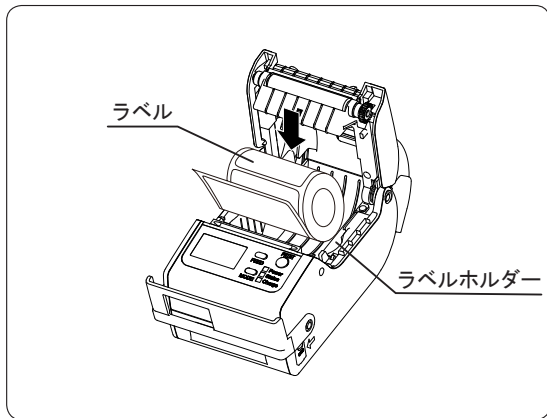


⚠ 注意

ストッパーを上げないと、ラベルホルダーは動きません。

③ 図のように表巻きラベルをセットします。

収納できるラベルサイズは、項目16の「本体仕様」をお読みください。

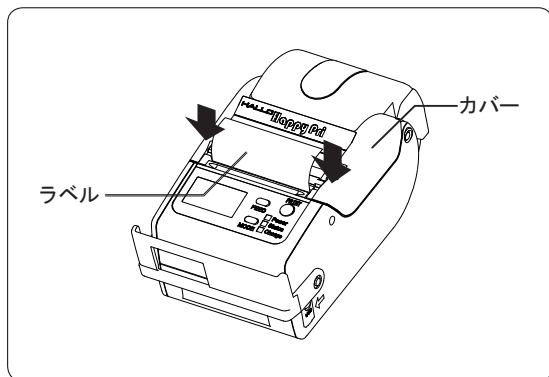


! 注意

- カバーの開放時に、サーマルヘッドがむき出しになりますので、手を触れないでください。
- ◆使用直後のラベルの交換時などは、サーマルヘッドが過熱していて、火傷のおそれがあります。
 - ◆また、手油がサーマルヘッド劣化の原因になりますので、絶対に触らないでください。

5 ラベルのセット方法（つづき）

- ④ ラベルを手前に引き出し、矢印のようにカバーの両端をゆっくりカチャッと音がするまで閉めてください。カバーが固定されます。



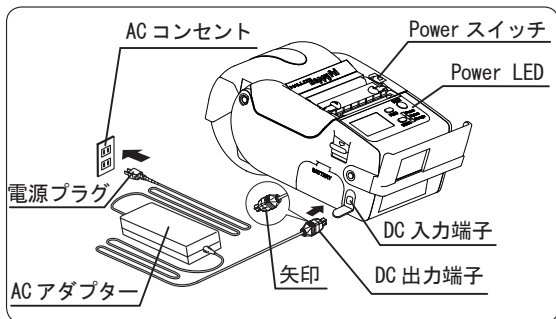
⚠ 注意

- ◆カバーを勢いよく閉じると故障・破損の原因になります。
- ◆手を挟まないように注意してください。

6 ACアダプターでご使用の場合

6-1 ACアダプターの接続

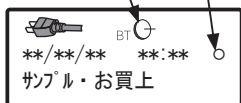
- ① ACアダプターのDC出力端子を持って矢印が向こう側になるように本体のDC入力端子に接続し、電源プラグを持ってACコンセントに接続します。



- ② Powerスイッチを上方にスライドさせて、Power LEDが緑色点灯してから手を離すと電源が入ります。
◆電源を入れると、画面にVersionが表示された後、発行画面を表示します。

連続モードの場合に表示されます。

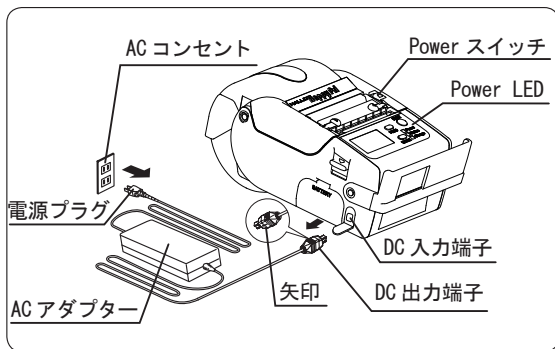
Bluetooth(有効な場合)



(発行画面)

6-2 ACアダプターの取り外し

- ① Power スイッチを上方にスライドさせて、緑色点灯していた Power LED が消灯すると電源が切れます。
- ② AC アダプターの電源プラグを持って AC コンセントから抜いて、AC アダプターの DC 出力端子を持って本体の DC 入力端子から抜いてください。



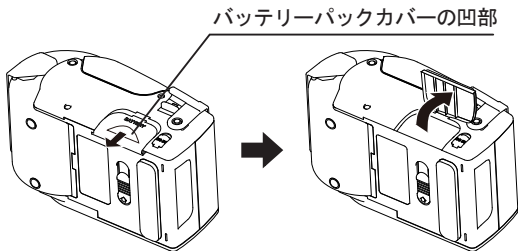
⚠ 注意

ご使用後および長時間ご使用されない場合は、ACアダプターのプラグをACコンセントから抜いてください。

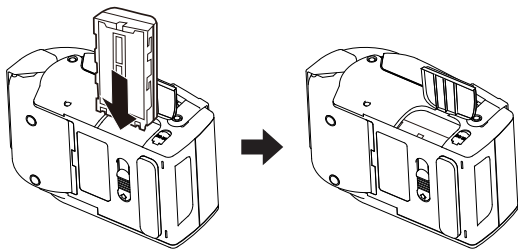
7 バッテリーパックでご利用の場合 (オプション)

7-1 バッテリーパックの挿入

- ① バッテリーパックカバーを開きます。
◆本体のバッテリーパックカバーの凹部に指を掛けてカチャッとロックが解除されるまで矢印の方向へスライドさせてから真上に回転させてください。



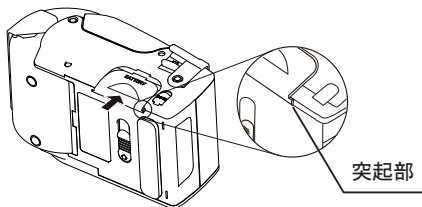
- ② 満充電のバッテリーパックの接続端子を奥にして本体のバッテリーパック収納部にカチャッとロックされるまで差し込んでください。



! 注意

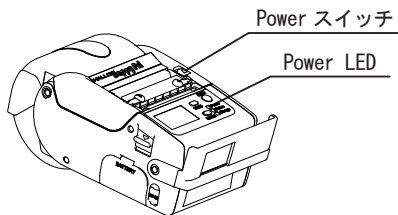
バッテリーパックは、必ず接続端子側の方から差し込んでください。逆の方から差し込むと抜けなくなります。

- ③ バッテリーパックカバーを閉じます。
- ◆ バッテリーパックカバーを倒してから、バッテリーパックカバーの両側の突起部が本体のスリットにカチャッとロックされるまでスライドさせます。



7 バッテリーパックでご使用の場合（オプション）（つづき）

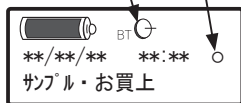
- ④ Power スイッチを上方にスライドさせると、Power LED が緑色点灯して手を離すと電源が入ります。



- ◆電源を入ると、画面に Version が表示された後、発行画面を表示します。

連続モードの場合に表示されます。

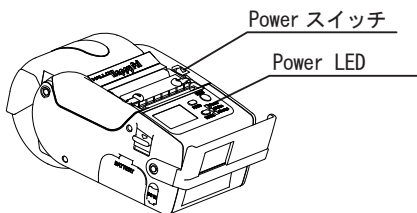
Bluetooth(有効な場合)



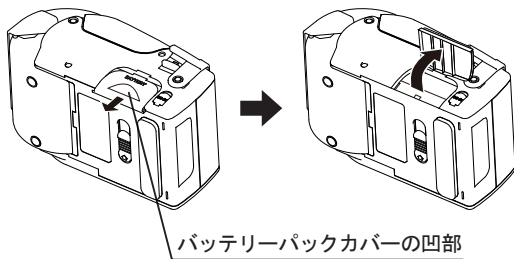
(発行画面)

7-2 バッテリーパックの取り外し

- ① Power スイッチを上方にスライドさせると、緑色点灯していた Power LED が消灯して電源が切れます。

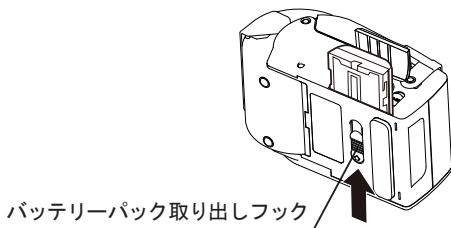


- ② バッテリーパックカバーを開きます。
◆ 本体のバッテリーパックカバーの凹部に指を掛けてカチャッとロックが解除されるまで矢印の方向へスライドさせてから真上に回転させてください。



7 バッテリーパックでご使用の場合 (お°シヨ) (つづき)

- ③ バッテリーパックを取り出します。
- ◆ 本体の底面にあるバッテリーパック取り出しフックをカチャッとロックが解除されるまで矢印の方向にスライドさせてください。



8 バッテリーパックの充電（充電）

8-1 こんな時は、充電が必要です

- ① はじめてバッテリーパックをお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったとき。
- ② 電源を入れても、LCD に何も表示されないときや、一度電池残量が表示されたが、すぐに消えてしまったとき。
- ③ 電池残量表示が段階 1/4 以下になったとき。

連続モードの場合に表示されます。

Bluetooth（有効な場合）



（発行画面）

- ④ 各項目の入力中に LCD の表示が消えてしまったとき。
- ⑤ 印字中に動作が停止し、LCD に「電圧低下」の表示がされたとき。

8-2 充電方法

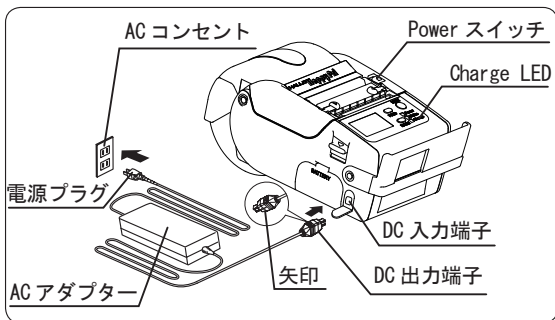
1. 本体で充電する

- ① 本体にバッテリーパックを挿入してください。
- ② 電源を切った状態で本体の DC 入力端子カバーを開き、AC アダプターの DC 出力端子を本体の DC 入力端子に接続します。
- ③ AC アダプターの電源プラグを AC コンセントに接続します。
- ④ 本体の Charge LED がオレンジ色に点灯し充電が始まります。

◆充電時間： 5 時間

◆充電回数： 300 回

※充電時間や充電回数は、目安です。
その時の使用状況によって変動します。



- ⑤ 満充電になると Charge LED が消灯します。

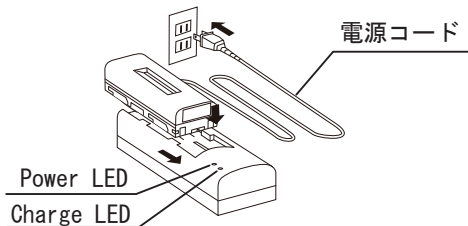
- ⑥ ACアダプターの電源プラグをACコンセントから取り外してしてください。
- ⑦ ACアダプターのDC出力端子を本体のDC入力端子から取り外し、本体のDC入力端子カバーを閉じてください。

 注意

ACアダプターのプラグをACコンセントから取り外す時やACアダプターのDC出力端子を本体のDC入力端子から取り外す時は、必ず本体の電源を切ってください。

2. バッテリーチャージャーで充電する（オプション）

- ① 電源コードの出力側をバッテリーチャージャーの入力側に差し込み、電源コードのプラグを AC コンセントに接続します。
 - ◆ Power LED が赤色点灯します。
- ② バッテリーパックを真上から挿入して矢印の方向へスライドさせるとカチャッとロックされます。
 - ◆ 充電が始まると Charge LED が赤色に点灯します。満充電になると Charge LED が消灯します。



! 注意

Charge LED が点滅した時は、バッテリーパックの不具合ですので、充電を止めてください。

- ③ 充電が終了したら、バッテリーパックを取り外します。
 - ◆ 充電時間： 3 時間
 - ◆ 充電回数： 300 回

※充電時間や充電回数は、目安です。
その時の使用状況によって変動します。

 警 告

- ◆バッテリーパックは、絶対に分解または改造しないでください。破損、ショート、発火の恐れがあり、感電・火傷・火災の原因になります。
- ◆バッテリーパックに水やホコリなどがかからないようにしてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
- ◆バッテリーパックを保管するときは、金属などといっしょに置かないでください。ショートして、火災・感電の原因になります。

 注 意

- ◆バッテリーパックは、長時間、充電状態で放置しないでください。
- ◆充電後は、必ずバッテリーチャージャーまたはACアダプターの電源コードのプラグをACコンセントから抜いてください。
- ◆バッテリーパックは、充電後、長時間放置すると自然放電して電池残量が減少し、動作時間が少なくなることがあります（故障ではありません）。
- ◆使用直後でバッテリーパックが高温の状態の時は、充電しないでください。
- ◆必ず、温度が下がってから充電してください。
- ◆充電直後は、バッテリーパックが高温になりますので注意してください。

8-3 バッテリーパックをご使用になる上で

- ① バッテリーパックについて
バッテリーパックは、過充電や過放電により劣化速度（寿命）が大きく左右されますのでご注意ください。
- ◆過充電を起こさないための注意点
充電したバッテリーパックは、放電をしないで短時間に何回も再充電を行わないでください。
 - ◆過放電を起こさないための注意点
本体の LCD で電池残量の少ない警告が表示されたら、バッテリーパックを速やかに充電してください。
バッテリーパックは、長時間本体に装着したままの状態（電源を切った時でも放電は起きています）におかれた場合、または長時間自然放置された場合、過放電になる可能性があります。
 - ◆充電の最適化
バッテリーパックの充電は、本体の LCD で電池残量が 1/4 以下になってから行うのが最適で長寿命が保てます。



リチウムイオン電池は、過放電させると正常に充電できなくなります。

② その他

- ◆本体で大量に印字発行した直後などは、バッテリーパックの温度が高くなっていることがあります。

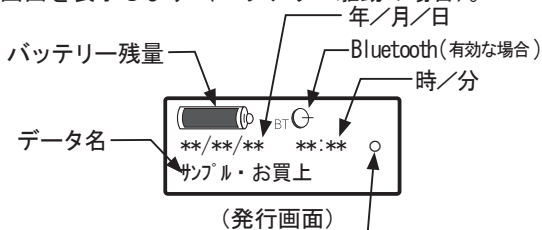
 注意

バッテリーパックの温度が下がってから充電してください。

- ◆リチウムイオン電池は、低温環境下では著しく容量が低下します。早めの充電を推奨します。
- ◆充電しても容量が満充電にならない場合、または使用時間が減少してきた場合は、新しいバッテリーパックと交換してください。
- ◆バッテリー駆動の時は、バッテリー残量がLCDに表示されます。

① 発行画面

電源を入れると Version 番号を表示した後に、発行画面を表示します（バッテリー駆動の場合）。



連続モードの場合に表示されます。
(剥離モードの場合は表示されません。)

- ◆ PRINT キーでラベル発行ができます。
- ◆ パソコンと通信することができます。
作成したデータおよびラベルの各種設定データをパソコンから本体に登録できます。

② データ選択画面

発行画面で MODE キーを押すとデータ選択画面に切り替えます。



- ◆ FEED キーでデータを順送り、MODE キーでデータを逆送りして選択することができます。
- ◆ PRINT キーで選択されたデータに設定され、発行画面に戻ります。

③ 設定画面 1

発行画面で MODE キーを長押し（約 5 秒）すると設定画面 1 に切替ります。

発行モード切替 剥離モード操作 初期表示設定 枚数入力表示
--

- ◆ FEED キーで設定項目を選択することができます。
- ◆ MODE キーで設定画面 2 に切替ります。
（LCD チェックは、チェック後、設定画面 1 に戻ります。）
- ◆ PRINT キーで発行画面に戻ります。

④ 設定画面 2

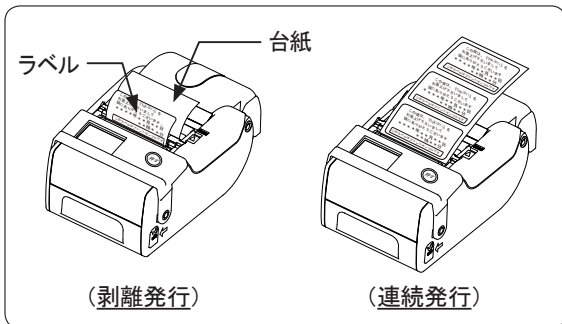
- ◆ FEED キーで設定項目を選択することができます。
- ◆ MODE キーで設定または印字します。
- ◆ PRINT キーで選択中の項目を設定して発行画面に戻ります。

⑤ 設定画面 3

- ◆ MODE キーで設定し、設定画面 1 に戻ります。
- ◆ PRINT キーで選択中の項目を設定して発行画面に戻ります。

10 ラベルの発行方法

本体は、剥離発行と連続発行ができます。
剥離発行は、ラベルを台紙と剥離して発行します。
連続発行は、ラベルを台紙に貼着したまま発行します。



- ① 剥離発行は、「PRINT キー発行」と「センサー検出发行」を選択することができます。
また、それぞれの発行方法には、発行枚数を設定する場合または設定しない場合を選択することができます。
※詳しくは、項目 13-2 の「剥離モード操作」および項目 13-4 「枚数入力表示」をお読みください。
◆項目 5-1 の「剥離発行の場合」に合わせてラベルをセットしてください。
- ② 連続発行は、発行枚数を設定する場合または設定しない場合を選択することができます。
※詳しくは、項目 13-4 「枚数入力表示」をお読みください。
◆項目 5-2 の「連続発行の場合」に合わせてラベルをセットしてください。

パソコンから本体へ新規にデータを登録した場合

◆ FEED キーを押して白紙ラベルを 1 枚発行して、
位置合わせを行います。



以後、発行画面で PRINT キーを押すとラベルを
発行することができます。

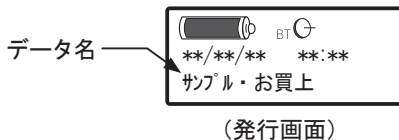
※本体への登録方法は、項目 1 2 の「本体へのデータ登録方法」をお読みください。

10 ラベルの発行方法（つづき）

予め、本体にラベルパートナーからデータを登録しておきます。または、ラベルパートナーからオンライン発行します。

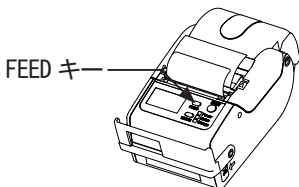
10-1 剥離発行

電源を入れると、発行画面を表示します。



※ラベル交換などカバーを開閉した時は、FEED キーを押してください。

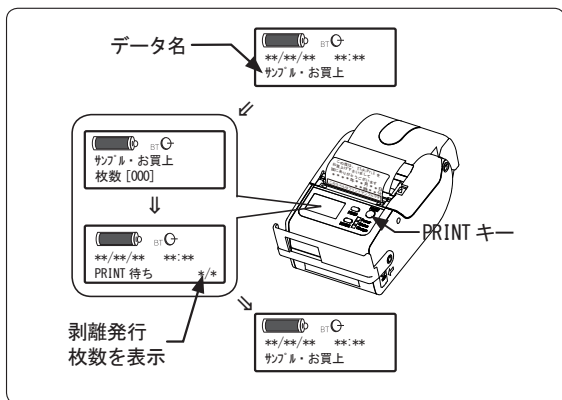
白紙ラベルを1枚発行し、位置合わせを行います。



【PRINT キー発行】

枚数入力表示を [する] に設定した場合

- ◆発行画面で PRINT キーを押すと発行枚数入力画面が表示されますので、発行枚数を設定します。
- ※ FEED キーで (+1) 加算、長押しで (+5) 加算します。
MODE キーで (-1) 減算、長押しで (-5) 減算します。
- ◆ PRINT キーを押すとラベルを 1 枚だけ剥離発行し、PRINT 待ち画面になります。
剥離発行されたラベルを取り除いて、PRINT キーを押すと次のラベルを 1 枚だけ剥離発行し、設定された発行枚数まで剥離発行し、終了すると発行画面に戻ります。
- ※途中で PRINT キーを長押しすると、発行を停止し発行画面に戻ります。

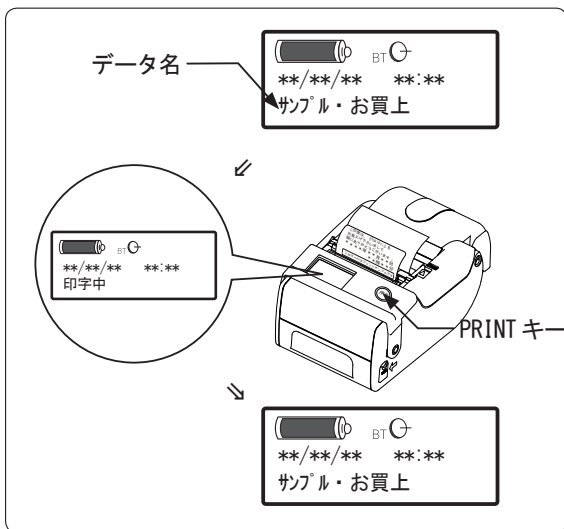


※発行枚数を [000] のまま PRINT キーを押した場合は、枚数入力表示を [しない] に設定した場合と同様になります。

枚数入力表示を [しない] に設定した場合

◆発行画面で PRINT キーを押すとラベルを 1 枚だけ剥離発行し、発行画面に戻ります。

剥離されたラベルを取り除いて、PRINT キーを押すと次のラベルを 1 枚だけ剥離発行し、発行画面に戻ります。



【センサー検出發行】

枚数入力表示を [する] に設定した場合

◆発行画面で PRINT キーを押すと発行枚数入力画面が表示されますので、発行枚数を設定します。

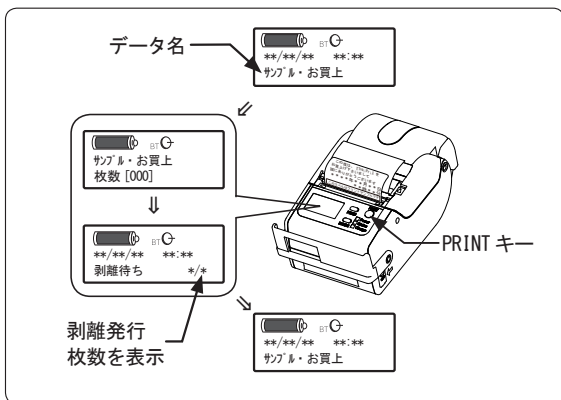
※ FEED キーで (+1) 加算、長押しで (+5) 加算します。

MODE キーで (-1) 減算、長押しで (-5) 減算します。

◆ PRINT キーを押すとラベルを 1 枚だけ剥離発行し、剥離待ち画面になります。

剥離されたラベルを取り除くと、自動的に次のラベルを 1 枚だけ剥離発行し、設定された発行枚数まで剥離発行し、終了すると発行画面に戻ります。

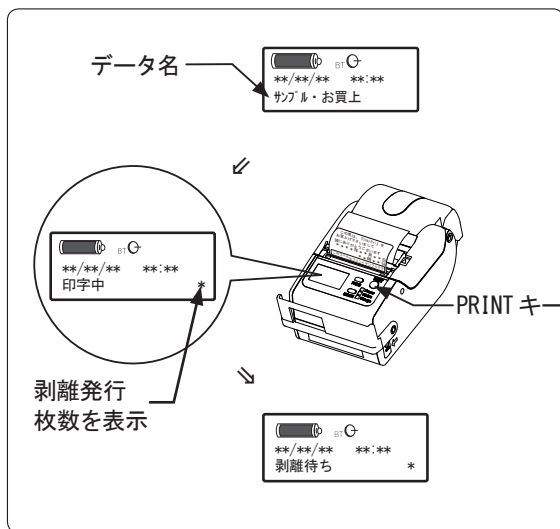
※途中で剥離されたラベルを取り除かないで PRINT キーを押すと、発行を停止し発行画面に戻ります。



※発行枚数を [000] のまま PRINT キーを押した場合は、枚数入力表示を [しない] に設定した場合と同様になります。

枚数入力表示を [しない] に設定した場合

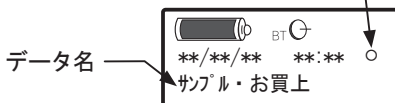
- ◆発行画面で PRINT キーを押すとラベルを 1 枚だけ剥離発行し、剥離待ち画面になります。
剥離されたラベルを取り除くと、自動的に次のラベルを 1 枚だけ剥離発行し、剥離待ち画面に戻ります。
※途中で PRINT キーを押すと、発行を停止し発行画面に戻ります。



10-2 連続発行

- ① 電源を入れると、発行画面を表示します。

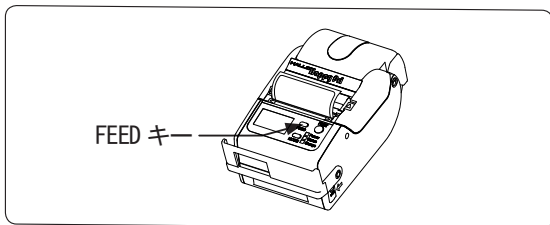
連続モードの場合に表示されます。



（発行画面）

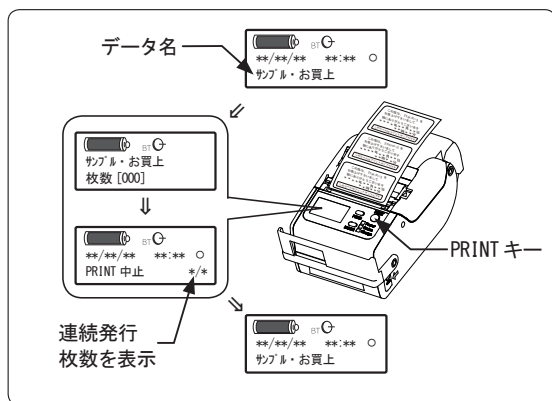
※ラベル交換などカバーを開閉した時は、FEED キーを押してください。

白紙ラベルが1枚発行され、位置合わせを行います。



【枚数入力表示を [する] に設定した場合】

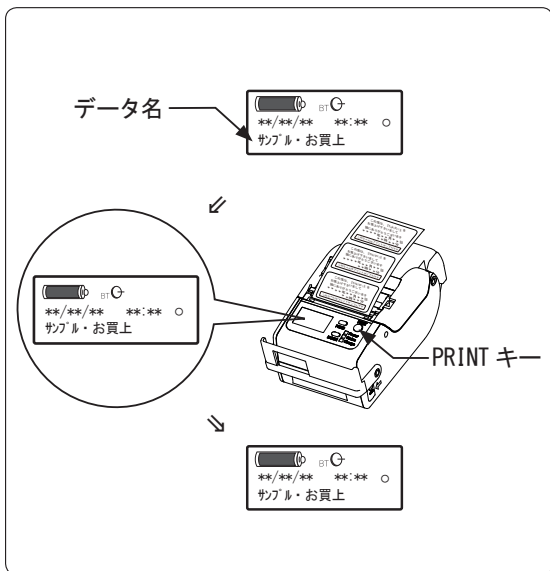
- ◆発行画面で PRINT キーを押すと発行枚数入力画面が表示されますので、発行枚数を設定します。
- ※ FEED キーで (+1) 加算、長押しで (+5) 加算します。
MODE キーで (-1) 減算、長押しで (-5) 減算します。
- ◆ PRINT キーを押すと、設定された発行枚数まで連続してラベルを発行します。
- ※途中で PRINT キーを押すと発行を停止し、FEED キーを押すと再発行します。
もう一度 PRINT キーを押すと発行を停止し、続けて PRINT キーを押すと発行画面に戻ります。



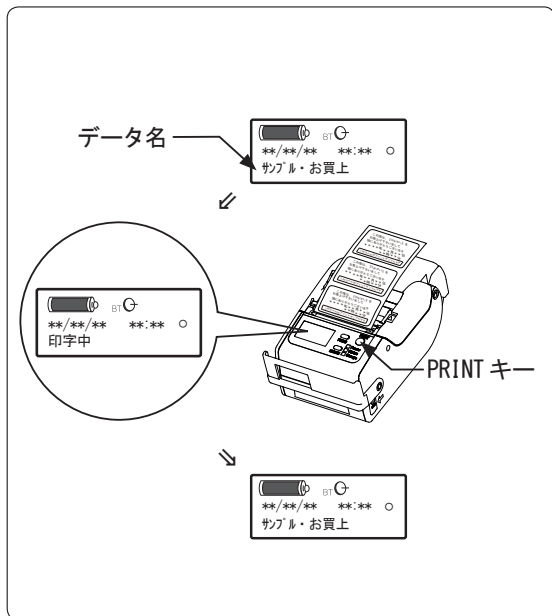
※発行枚数を [000] のまま PRINT キーを押した場合は、枚数入力表示を [しない] に設定した場合と同様になります。

【枚数入力表示を [しない] に設定した場合】

- ◆発行画面で PRINT キーを押すとラベルを 1 枚だけ発行し、発行画面に戻ります。



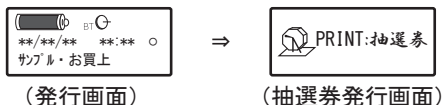
- ◆発行画面で PRINT キーを押し続けると、ラベルを連続発行し、PRINT キーを離すとラベル発行を停止し発行画面に戻ります。



10-3 抽選設定機能による連続発行

抽選ラベル発行前の準備

- ① ラベルパートナーで抽選設定機能を使ったレイアウトデータを作成します。
- ② 項目12「本体へのデータ登録方法」をお読みの上、本体に抽選設定機能付レイアウトデータをダウンロードします。
- ③ すると、本体の発行画面が抽選券発行画面に切り替ります。



※詳しくは、付属の CD-ROM[Label Partner For Happy Pri] の取扱説明書の項目 1 1 - ⑱の「抽選設定機能」をお読みください。

抽選ラベル発行

- ① 抽選券発行画面で PRINT キーを押すごとに 1 枚ずつ抽選券を発行し、抽選券発行画面に戻ります。

- ◆枚数による抽選設定で抽選券を発行する場合、設定した発行枚数に到達したときは、抽選券発行終了！と表示されます。



PRINT キーを押すと抽選券発行画面に戻ります。



再度、ラベルパートナーから抽選設定機能付レイアウトデータを本体にダウンロードして抽選券を発行してください。

- ◆確率による抽選設定で抽選券を発行する場合、各レイアウトの確率が 100%未満でハズレ券の定義をしていない場合は、抽選券発行画面に「ハズレ！」を表示します。



約 4 秒後、操作パネルカバー上の「押す」マークを押して抽選券発行画面に戻してから、再度抽選券を発行してください。

- ◆ラベルパートナーの抽選設定で「抽選設定情報を削除」ボタンをクリックして、抽選設定機能付レイアウトデータをクリアして本体にダウンロードすると、抽選券発行画面が発行画面に切り替わります。



通常のラベル発行をすることができます。
(抽選設定機能が解除されます。)

【抽選券を発行する時の注意】

- ① 本体を必ず水平の状態にして抽選券を発行してください。
- ② 必ず操作パネルカバー上の「押す」マークを押して抽選券を発行してください。
- ③ 抽選券発行画面で抽選券を発行しようとした時にラベルエンドやマークエラーなどのエラーメッセージが表示され Status LED が点灯した場合は、抽選券発行が停止します。



項目 13 のエラーメッセージをご参考にして対処してください。そうすると再発行ができます。

※再発行をしないで再抽選したい場合は、一旦、Power スイッチを切ってからラベルの交換などを行ってください。



それから Power スイッチを入れて PRINT キーを押すと LCD につきのような「再発行」または「再抽選」の選択画面が表示されます。



FEED キーで再抽選を選択して再度 PRINT キーを押すと再抽選された抽選券が発行されます。

1.1 本体とパソコンとの接続方法

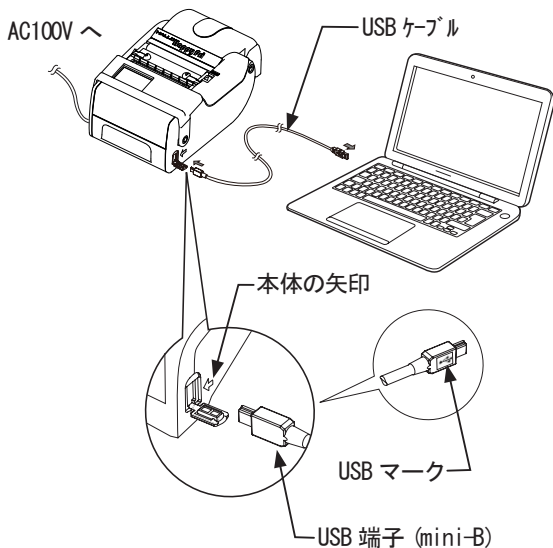
本体とパソコンを USB ケーブルで接続します。

【接続方法】

下図のように USB 端子 (mini-B) 側の USB マーク



と本体の矢印が向き合うように本体とパソコンを接続します。



1.2 本体へのデータ登録方法

① 本体とパソコンを通信状態にします。

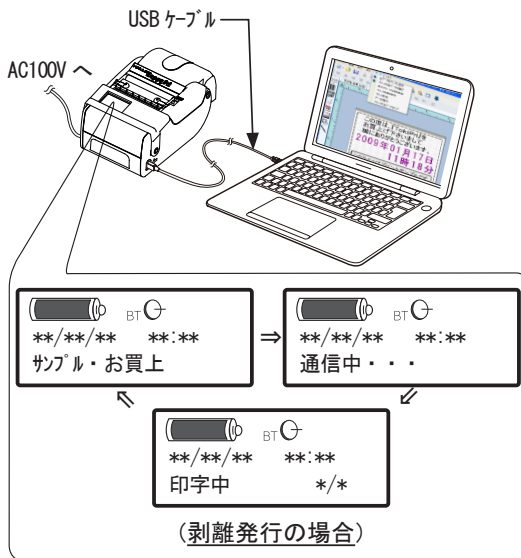
◆項目 1.1 「本体とパソコンとの接続方法」をお読みの上、本体とパソコンを USB ケーブルで接続してください。

◆データの通信をする場合は、本体を発行画面にしてください。

※ラベルパートナーで作成したデータを本体に登録しないでオンライン発行することができます。

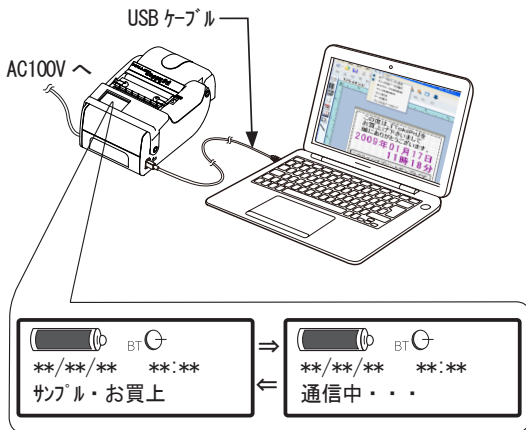
登録前の印字確認をする時に便利です。

詳しくは、付属の CD-ROM [Label Partner For Happy Pri] の取扱説明書をお読みください。



- ② パソコンで作成したデータおよびラベルの各種設定データを本体に送信して登録します。
- ◆ 本体には、最大40件までのデータが登録できます。

パソコンでのデータの作成、ラベルの各種の設定方法、データの送信方法は、付属のCD-ROMの [Label Partner For Happy Pri] の取扱説明書をお読みください。



1.3 本体の設定機能

発行画面で MODE キーを長押し（約5秒）すると、設定画面 1 に切り替わり、本体で各種設定を行うことができます。

【設定画面の概要】

	設定画面 1	設定画面 2	設定画面 3
	FEED キーで項目 を選択します。	FEED キーで項目 を選択します。	FEED キーでデータ名 を選択します。
	MODE キー	MODE キー	
※ ★	発行モード切替	剥離モード 連続モード	
※ ★	剥離モード操作	PRINT キー発行 センサー検出發行	
※	初期表示設定	初期設定 [しない]	
※ ★	枚数入力表示	初期設定 [する]	初期指定データ： データ名
	テスト印字	しない・する 4ドット斜線 48ドット斜線 確認パターン 新盛ロゴ WL/BT/ADDR	MODE キー で印字
★	内蔵時計設定	年/月/日/時/分	
	LCD チェック		
	センサー波形	マークセンサー ギャップセンサー	MODE キーで印字 PRINT キーで停止
★	ヘッドチェック	有効・無効	
	時計変更履歴印刷		
※	履歴データ	しない・する	
◆ ★	発行開始間隔指定	する・しない	発行開始間隔指定
	自動電源 OFF	AC/電池モード	する・しない
	自動バックライト OFF	AC/電池モード	する・しない
	無線モジュール	AC/電池モード	有効・無効
◆	発行済枚数	発行済枚数確認 発行済枚数削除	枚数表示 する・しない
◆	ナビゲーション初期化	する・しない	
◆	抽選設定初期化	する・しない	
	プリンタ初期化	する・しない	

※印の機能は、抽選設定機能を使用の時には表示されません。

◆印の機能は、抽選設定機能を使用の時だけ表示されます。

★印の機能は、パソコンからでも設定ができます。

13-1 発行モード切替

設定画面1で「発行モード切替」を選択しMODEキーを押すと、「剥離モード」と「連続モード」の設定画面2に切替ります。



剥離モード
連続モード

- ◆ FEEDキーを押すごとに「剥離モード」→「連続モード」に切替ります。
- ◆ MODEキーを押すと選択項目に設定され、設定画面1に戻ります。
- ※ PRINTキーを押すと選択項目に設定され、発行画面に戻ります。

「剥離モード」に設定した場合は、次の13-2「剥離モード操作」に進んでください。

13-2 剥離モード操作

剥離モードに設定した場合は、「PRINT キー発行」または「センサー検出发行」のいずれかを設定します。

- ◆ PRINT キー発行は、剥離発行されたラベルを取り除くと、PRINT キーを押すと次のラベルが1枚剥離発行されます。
- ◆ センサー検出发行は、PRINT キーで発行開始し、以後、ラベルを取り除くと、自動的に次のラベルが1枚剥離発行されます。
発行を停止する場合は、PRINT キーを押してラベルを取り除きます。
再開する時は、PRINT キーを押します。

設定画面1で「剥離モード操作」を選択しMODEキーを押すと、「PRINT キー発行」と「センサー検出发行」の設定画面2になります。

PRINT キー発行
センサー検出发行

- ◆ FEED キーを押すごとに「PRINT キー発行」→「センサー検出发行」に切替ります。
MODE キーを押すと選択項目に設定され、設定画面1に戻ります。
- ※ PRINT キーを押すと選択項目に設定され、発行画面に戻ります。

13-3 初期表示設定

電源を入れた時に、発行画面にいつも選択されたデータ名を表示させるかどうかの設定ができます。

- ① 設定画面 1 で FEED キーによって「初期表示設定」を選択し MODE キーを押すと、「初期設定 [しない]」と「初期設定 [する]」の設定画面 2 に切替ります。

初期設定 [しない]

初期設定 [する]

- ◆設定画面 2 で FEED キーを押すごとに「初期表示 [しない]」→「初期設定 [する]」に切替ります。

- ◆初期設定 [しない] に設定すると、電源を入れた時に発行画面には最後に選択されたデータ名が表示されます。

- ◆初期設定 [する] に設定すると、電源を入れた時に発行画面にはいつも選択されたデータ名を表示させることができます。

- ② 設定画面 2 で「初期表示 [しない]」を選択して、MODE キーを押すと選択項目に設定されて設定画面 1 に戻ります。

※ MODE キーの代わりに PRINT キーを押した場合は、選択項目に設定されて発行画面に戻ります。

- ③ 設定画面2で「初期表示 [する]」を選択して、MODE キーを押すと「初期指定データ：」の設定画面3に切替ります。

データ名

初期指定データ：
サンプル・お買上

- ◆ 設定画面3で FEED キーを押すごとにデータ名を選択することができます。

MODE キーを押すと選択項目に設定されて設定画面1に戻ります。

- ※ MODE キーの代わりに PRINT キーを押した場合は、選択項目に設定されて発行画面に戻ります。

- ◆ 本体にデータが登録されていない時は、設定画面3が下図のように表示されて設定画面1に戻ります。

データ名

初期指定データ：
登録データなし

13-4 枚数入力表示

ラベルを発行する時に、発行枚数入力画面を表示させるかどうかの選択をすることができます。

- ① 設定画面 1 で FEED キーによって「枚数入力表示」を選択し MODE キーを押すと、「枚数入力 [しない]」と「枚数入力 [する]」の設定画面 2 に切り替えます。

枚数入力 [しない]
枚数入力 [する]

- ◆設定画面 2 で FEED キーを押すごとに「枚数入力 [しない]」→「枚数入力 [する]」に切り替えます。

- ◆枚数入力 [しない] に設定した場合、発行画面で PRINT キーを押すと発行枚数入力画面が表示されずにラベルを発行します。
- ◆枚数入力 [する] に設定した場合、発行画面で PRINT キーを押すと発行枚数入力画面が表示されますので、発行枚数を入力してラベルを発行します。

- ② 設定画面 2 で MODE キーを押すと、選択項目に設定されて設定画面 1 に戻ります。

※ MODE キーの代わりに PRINT キーを押した場合は、選択項目に設定されて発行画面に戻ります。

13-5 テスト印字

印字パターンを選択して、テスト印字を行います。

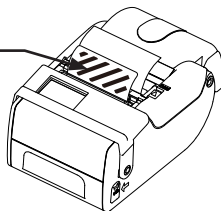
- ① 設定画面1で「テスト印字」を選択し MODE キーを押すと、「印字パターン」の設定画面2に切替ります。



- ◆ FEED キーを押すごとに「4ドット斜線」→「48ドット斜線」→「確認パターン」→「新盛ロゴ」→「WL/BT ADDR」に切替ります。
- ◆ MODE キーを押すと選択された印字パターンがテスト印字されます。

48ドット斜線の場合

(剥離発行の場合)

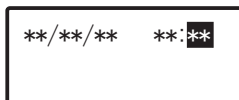


- ◆ PRINT キーを押すと、発行画面に戻ります。

13-6 内蔵時計設定

内蔵時計の時刻合わせを行います。

- ① 設定画面 1 で「内蔵時計設定」を選択し MODE キーを押すと、時刻の設定画面 2 に切替り、最初に「分」を設定します。



- ◆ FEED キーを押すごとに分を [00-59] まで選択することができます。

- ③ MODE キーを押すと「分」が設定され、「時間」の設定に移動します。



- ◆ FEED キーを押すごとに時間を [00-23] まで選択することができます。

- ④ MODE キーを押すと「時間」が設定され、「日にち」の設定に移動します。



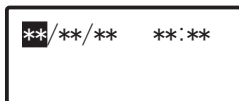
- ◆ FEED キーを押すごとに日にちを [01-31] まで選択することができます。

- ⑤ MODE キーを押すと「日にち」が設定され、「月」の設定に移動します。



- ◆ FEED キーを押すごとに月を [01-12] まで選択することができます。

- ⑥ MODE キーを押すと「月」が設定され、西暦下 2 桁の「年」の設定に移動します。



- ◆ FEED キーを押すごとに年を [00-99] まで選択することができます。

- ⑦ MODE キーを押すと設定された時刻から内蔵時計が作動し、設定画面 1 に戻ります。

※ PRINT キーを押すと設定された時刻から内蔵時計が作動し、発行画面に戻ります。

※ MODE キーまたは PRINT キーを押すと秒表示は、[00] 秒から設定されます。

13-7 LCD チェック

LCD の表示機能をセルフチェックします。

※通常は、使用しません。



「OK」と表示されたら、正常です。

13-8 センサー波形

マークセンサーとギャップセンサーの感度を波形としてラベルに印字します。

※通常は、使用しません。



- ◆この設定画面2で、MODE キーを押すとセンサー波形を印字し、PRINT キーを押すと停止します。もう一度、PRINT キーを押すと発行画面に戻ります。

⚠ 注意

ラベルを発行させる場合は、必ず連続モードに設定して行ってください。

13-9 ヘッド チェック

サーマルヘッドの異常・断線かを自動でチェックする機能を有効にするかの設定をします。

- ① 設定画面 1 で FEED キーを押して「ヘッドチェック」を選択します。



- ② この設定画面 1 で MODE キーを押すと次の設定画面 2 が表示されます。

「有効」に選択されたまま MODE キーを押すと、ヘッドチェックを自動で行う設定にされて設定画面 1 に戻ります。

FEED キーを押して無効を選択して MODE キーを押すと、ヘッドチェックを自動で行わない設定にされて設定画面 1 に戻ります。



※この設定画面 2 で PRINT キーを押すと、選択項目に設定されて発行画面に戻ります。

13-10 時計変更履歴印刷

内蔵時計を変更した履歴データを本体に保存し、保存した履歴データ印刷することができます。

- ① 設定画面 1 で FEED キーを押して「時計変更履歴印刷」を選択します。

時計変更履歴印刷

- ② この設定画面 1 で MODE キーを押すと本体で時計変更履歴データを印刷します。

タイプ	設定前期日	設定後期日
本体	**/**/** **: **: **	**/**/** **: **: **
...

⚠ 注意

時計変更履歴印刷を行う場合は、必ず連続モードに設定して行ってください。

13-11 履歴データ

発行履歴データを本体に保存し、ラベルパートナーのメニューバーの「プリンタ」⇒「発行履歴取得」をクリックして読み込むことができます。

【最初に、本体で設定を行います。】

- ① 設定画面 1 で FEED キーを押して「履歴データ」を選択します。

履歴データ

- ② この設定画面 1 で MODE キーを押すと次の設定画面 2 が表示されます。

しない
する

- ◆ 「しない」を選択のまま MODE キーを押すと次の設定画面 3 が表示されます。

履歴データ削除？

この設定画面 3 で MODE キーを押すと次の設定画面 4 が表示されます。

しない
する

この設定画面4で「する」を選択のまま MODE キーを押すと、履歴データが削除されて設定画面1に戻ります。

FEED キーを押して「しない」を選択して MODE キーを押すと、履歴データを削除しないで設定画面1に戻ります。

※この設定画面4で PRINT キーを押すと、選択項目を処理して発行画面に戻ります。

- ◆設定画面2で FEED キーを押して「する」を選択して MODE キーを押すと、次の設定画面3を表示します。



履歴満杯警告

この設定画面3で MODE キーを押すと、次の設定画面4を表示します。



しない

する

この設定画面4で「する」を選択のまま MODE キーを押すと、「履歴データ満杯！」を表示する設定にされて設定画面1に戻ります。

FEED キーを押して「しない」を選択して MODE キーを押すと、「履歴データ満杯！」を表示しない設定にされて設定画面1に戻ります。

※この設定画面4で PRINT キーを押すと、選択項目に設定されて発行画面に戻ります。

【注意】

※通常発行の場合は、「履歴データ」を「する」に設定すると発行履歴データは最大3,855件まで保存します。

抽選券発行の場合は、発行履歴データは最大50,115件まで保存します。

※「履歴満杯警告」を「する」に設定すると、発行履歴データが3,000件を超えると、最大件数まで毎回「履歴データ満杯！」のメッセージを本体のLCDに表示します。

※最大件数を超えると、一番古い発行履歴データに新しい発行履歴データを上書きしていきます。

※ラベル発行後に発行履歴データを保存しますので、ラベル発行直後に電源を切らないで下さい。

※ラベル発行中に電源が切れると、発行履歴データを保存することができません。

※履歴データ機能は、抽選券を発行しない場合に表示されます。

【次に、ラベルパートナーのメニューバーの「プリンタ」⇒「発行履歴取得」をクリックします。】

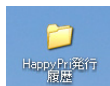
この時、本体を通信モードにしてください。

※通信モードになっていない場合は、エラーメッセージが表示されます。

※通常発行の場合は、本体の「履歴データ」を「する」に設定してください。「しない」に設定すると、エラーメッセージが表示され取得できません。

抽選券発行の場合は、本体での設定がありませんので、いつでも履歴データが取得できます。

- ① 通常発行の場合は、「Happy Pri 発行履歴取得」フォルダがデスクトップ上に自動的に作成され、抽選券発行の場合は、「抽選券発行履歴」フォルダがデスクトップ上に自動的に作成されます。



- ② それぞれのフォルダに発行履歴が CSV ファイル（自動的に日付がファイル名となります。）として保存されます。

※発行履歴データがフォルダに保存されると、本体の発行履歴は自動的に消去されます。

【Happy Pri 発行履歴の場合】

レイアウト番号 レイアウト名 日付 (yyyy/mm/dd) 時刻 (hh:mm:ss) 発行枚数

5	レイアウト 5	****/04/01	10:14:50	50
4	レイアウト 4	****/04/01	10:13:40	40
3	レイアウト 3	****/04/01	10:12:30	30
2	レイアウト 2	****/04/01	10:11:20	20
1	レイアウト 1	****/04/01	10:10:10	10



※Excelファイルで開いた時に、日付の列が「#####」になっている場合は、セルの幅を広くしてください。

【抽選券発行履歴の場合】

レイアウト番号 レイアウト名 日付 (yyyy/mm/dd) 時刻 (hh:mm:ss) 発行枚数

2	レイアウト 5	****/04/01	10:14:00	1
1	レイアウト 4	****/04/01	10:13:00	1
3	レイアウト 3	****/04/01	10:12:00	1
3	レイアウト 2	****/04/01	10:11:00	1
1	レイアウト 1	****/04/01	10:10:00	1



※Excelファイルで開いた時に、日付の列が「#####」になっている場合は、セルの幅を広くしてください。

13-12 発行開始間隔指定

PRINT キーを押してから抽選券を発行するまでの時間を設定することができます。

- ① 設定画面 1 で FEED キーを押して「発行開始間隔指定」を選択します。



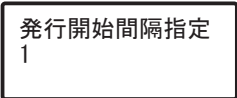
発行開始間隔指定

- ② この設定画面 1 で MODE キーを押すと本体で PRINT キーを押してから抽選券を発行するまでの発行開始間隔指定をするかの設定画面 2 が表示されます。



する
しない

- ◆ [する] を選択して MODE キーを押すと、次の発行開始間隔指定画面が表示されます。



発行開始間隔指定
1

FEED キーを押すごとに「1」ずつ加算されます。

指定範囲：「1～5」

MODE キーを押すと選択項目に設定され、設定 1 画面に戻ります。

PRINT キーを押すと選択項目に設定され、発行画面に戻ります。

- ◆ [しない] を選択して MODE キーを押すと、選択項目に設定され、設定画面 1 に戻ります。

PRINT キーを押すと選択項目に設定され、発行画面に戻ります。

【注意】

※発行開始間隔指定機能は、抽選券を発行する場合に表示されます。

13-13 自動電源 OFF

所定の時間内に操作をしないと自動的に本体の電源を切ります。

- ① 設定画面 1 で FEED キーを押して「自動電源 OFF」を選択します。



自動電源 OFF

- ② この設定画面 1 で MODE キーを押すと AC 電源モードと電池モードの電源を選択する設定画面 2 が表示されます。



AC 電源モード
電池モード

- ③ この設定画面 2 で AC 電源モードまたは電池モードを選択して MODE キーを押すと設定画面 3 が表示されます。



電源 OFF する
電源 OFF しない

- ④ この設定画面 3 で電源 OFF するを選択して MODE キーを押すとさらに設定画面 4 が表示されます。



自動電源 OFF 間隔
[01]

◆ FEED キーを押すごとに [1] ずつ加算し、MODE キーで [1] ずつ減算します。

設定範囲：[01 ~ 60]


※ PRINT キーを押すと選択項目に設定され、設定画面 1 に戻ります。

※電源 OFF しないを選択して MODE キーを押すと選択項目に設定され、設定画面 1 に戻ります。

13-14 自動バックライト OFF


所定の時間内に操作をしないと自動的に LCD のバックライトを消灯させます。

- ① 設定画面 1 で FEED キーを押して「自動バックライト OFF」を選択します。



自動バックライト OFF

- ② この設定画面 1 で MODE キーを押すと AC 電源モードと電池モードの電源を選択する設定画面 2 が表示されます。




AC 電源モード
電池モード

- ③ この設定画面 2 で AC 電源モードまたは電池モードを選択して MODE キーを押すと設定画面 3 が表示されます。



バックライト OFF する
バックライト OFF しない

- ④ この設定画面 3 で電源 OFF するを選択して MODE キーを押すとさらに設定画面 4 が表示されます。



バックライト OFF 間隔
[01]

◆ FEED キーを押すごとに [1] ずつ加算し、MODE キーで [1] ずつ減算します。

設定範囲：[01 ~ 90]

※ PRINT キーを押すと選択項目に設定され、設定画面 1 に戻ります。

※電源 OFF しないを選択して MODE キーを押すと選択項目に設定され、設定画面 1 に戻ります。

13-15 無線モジュール

Bluetooth（オプション）機能を有効・無効にするかの設定をします。

- ① 設定画面 1 で FEED キーを押して「無線モジュール」を選択します。



- ② この設定画面 1 で MODE キーを押すと AC 電源モードか電池モードに設定するかの設定画面 2 が表示されます。



- ③ この設定画面 2 で FEED キーでいずれかを選択して MODE キーを押すと、有効・無効に設定するかの設定画面 3 が表示されます。



- ④ この設定画面 3 で FEED キーで有効か無効かを選択し、MODE キーを押すと選択項目に設定され、設定画面 1 に戻ります。

※ 設定画面 3 で有効に設定すると、発行画面で Bluetooth マーク「BT 」が表示されます。

13-16 発行済枚数

抽選設定機能を使って抽選券を発行した累積枚数を保存します。

- ① 設定画面 1 で FEED キーを押して「発行済枚数」を選択します。

発行済枚数

- ② この設定画面 1 で MODE キーを押すと発行済枚数確認と発行済枚数削除を設定する設定画面 2 が表示されます。

発行済枚数確認
発行済枚数削除

- ◆ [発行済枚数確認] を選択して MODE キーを押すと、発行した抽選券の累積発行枚数の設定画面 3 が表示されます。

枚数 : 00001 枚

MODE または PRINT キーを押すと設定画面 1 に戻ります。

- ◆ 「発行済枚数削除」を選択してMODEキーを押すと、発行した抽選券の累積発行枚数を削除するかの設定画面3が表示されます。

発行枚数クリア？
する
しない

「する」を選択してMODEキーを押すと、削除されて設定画面1に戻ります。

PRINTキーを押すと削除されて、発行画面に戻ります。

「しない」を選択してMODEキーを押すと、削除されずに設定画面1に戻ります。

PRINTキーを押すと削除されずに、発行画面に戻ります。

【注意】

※発行済枚数機能は、抽選券を発行する場合に表示されます。

13-17 ナンバリング初期化

発行したラベルに連番で印字していた場合に、今までの連番履歴を初期化するかを設定をします。


初期化すると、それぞれのレイアウトと全レイアウト共通の両方のナンバリングを初期化します。

- ① 設定画面 1 で FEED キーを押して「ナンバリング初期化」を選択します。



ナンバリング初期化

- ② この設定画面 1 で MODE キーを押すとナンバリング初期化するかしないかを設定する設定画面 2 が表示されます。



ナンバリング初期化
する
しない

- ③ この設定画面 2 で FEED キーでいずれかを選択し、MODE キーを押すと選択項目に設定され設定画面 1 に戻ります。

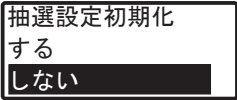
13-18 抽選設定初期化

抽選ラベルを発行中、または発行終了後、抽選設定を初期化するかの設定をします。
初期化すると、履歴データも消えます。

- ① 設定画面 1 で FEED キーを押して「抽選設定初期化」を選択します。



- ② この設定画面 1 で MODE キーを押すと抽選設定初期化するかしないかを設定する設定画面 2 が表示されます。



- ③ この設定画面 2 で FEED キーでいずれかを選択し、MODE キーを押すと選択項目に設定され設定画面 1 に戻ります。

【注意】

※発行済枚数機能は、抽選券を発行する場合に表示されます。

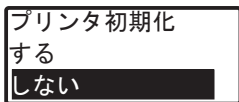
13-19 プリンタ初期化

正常動作に修復するとき、全てのデータを初期化するかの設定をします

- ① 設定画面 1 で FEED キーを押して「プリンタ初期化」を選択します。



- ② この設定画面 1 で MODE キーを押すとプリンタ初期化するかどうかを設定する設定画面 2 が表示されます。



- ③ この設定画面 2 で FEED キーでいずれかを選択し、MODE キーを押すと選択項目に設定され設定画面 1 に戻ります。

【注意】

※プリンタ初期化の場合は、時計・発行距離・時計変更履歴のデータは初期化されません。

1.4 始業時および日常の点検のお願い

14-1 印字の点検（テストパターンの印字）

ラベルを発行する時は、定期的にテストパターンを印字してください。

サーマルヘッドが正常に作動し、正しく印字できるかどうか定期的に確認してください。

- ① 電源を入れると発行画面を表示します。

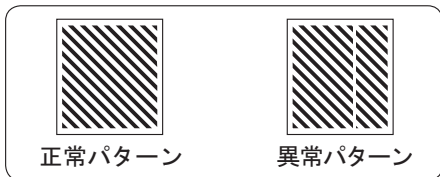
連続モードの場合に表示されます。

Bluetooth（有効な場合）



（発行画面）

- ② 項目 13-5 の「テスト印字」のように、テストパターンを印字させます。
- ③ 印字されたテストパターンに白抜けがないことを確認してください。



万が一、異常パターンがテスト印字された場合は、故障です。

バーコードを印字している時は、使用を中止し、販売店またはメーカーにご連絡ください。

14-2 ヘッドチェックの実行

項目 13-9 の「ヘッドチェック」で「有効」に設定した場合、本体に電源を入れると自動的にヘッドチェックを行います。

「ヘッド切れ」と表示した場合は、いずれかのキーを押すと、ラベルは発行できますが、サーマルヘッドの故障です。

販売店またはメーカーにご連絡ください。

- ◆ヘッドチェックは目安です。「ヘッド切れ」と表示した場合でも、テスト印字が正常だったり、テスト印字が異常でも「ヘッド切れ」を表示しない場合があります。

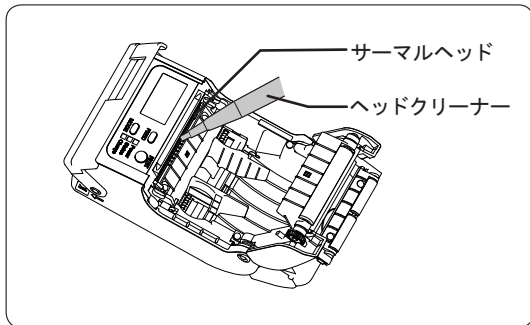
その場合は、テスト印字を優先してください。

14-3 サーマルヘッドのクリーニング

印字ヘッドに糊やゴミが付着すると、正常な印字ができなくなりますので、定期的にサーマルヘッドのクリーニングをしてください。

- ① カバー開閉レバーを下に押し下げて、カバーを開けて、ラベルを取り出します。
- ② 毎日ご使用の際は、サーマルヘッドにゴミなどが付着していないか点検してください。
- ③ 付着物がある場合は、付属のヘッドクリーナーでクリーニングした後で、柔らかい布で丁寧に拭き取ってください。

- ④ ヘッドクリーナーが汚れましたら、汚れた部分をカットして使用してください。



⚠ 注意

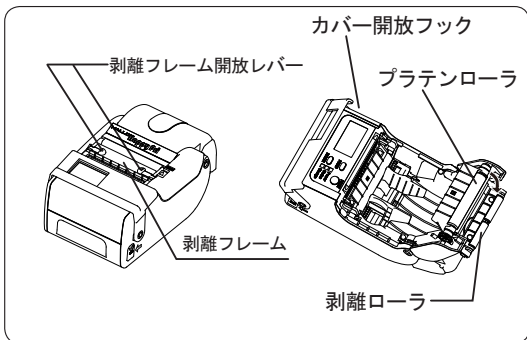
- ◆サーマルヘッド用と指定されているヘッドクリーナー以外は、使用しないでください。
- ◆ドライバーなどの先の硬いもので付着物を取り除こうとすると、サーマルヘッドの損傷の原因になりますので、絶対に行わないでください。
- ◆印字の直後など、サーマルヘッドが高温になっている場合は、クリーニングをしないでください。火傷の原因になります。

- ⑤ サーマルヘッドのクリーニング後にテスト印字を行ってください。そして、テストパターンに白抜けがないことを確認してください。

14-4 プラテンローラと剥離ローラのクリーニング

プラテンローラと剥離ローラに糊やゴミなどが付着している可能性がありますので、定期的にクリーニングをしてください。

- ① 剥離フレーム開放レバーをスライドさせて、剥離フレームをオープンにします。
- ② カバー開閉フックを下に押し下げ、カバーを開けてラベルを取り出します。



- ③ プラテンローラと剥離ローラをエタノールをしみ込ませた柔らかい布などで、きれいに拭き取ってください。

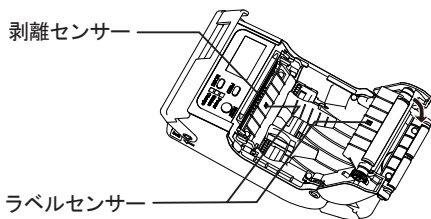
⚠ 注意

ベンジンやシンナーなどの有機溶剤は、本体またはプラテンローラなどを溶かすことが有り、トラブルの原因になりますので、絶対に使用しないでください。

14-5 各センサー部のクリーニング

各センサー部にゴミなどが付着している可能性がありますので、定期的にクリーニングをして下さい。

- ① カバー開閉レバーを下に押し下げてカバーをオープンにし、ラベルを取り出します。
 - ② ラベルセンサー部及び剥離センサー部を付属品のブラシでクリーニングしてください。
- ◆ラベルが正しくセットされていても Status LED が赤色点灯している場合、ラベルセンサー部にゴミが付着している可能性があります。



14-6 ラベル走行路のクリーニング

ラベルの走行路に糊やゴミが付着しましたら、エタノールをしみ込ませた柔らかい布などで、きれいに拭き取ってください。

15 エラーメッセージ

本体に異常が発生した場合、Status LEDが赤色点灯し、LCDに状態表示します。

◆対処方法に従って作業をしてください。

番号	LCD	LED	状態	対処方法
1	印字再開	消灯	発行中に一時停止した状態を表します。	データに合ったラベルがセットされているか確認し、正しいラベルをセットの上、FEEDキーを押してください。
2	冷却中	消灯	連続発行時にモータ過熱による休止状態を表します。	冷却後自動で発行を行います。
3	ヘッド冷却中	消灯	ヘッド加熱による冷却休止状態を表します。	冷却後自動で発行を行います。
4	ラベルエンド	赤色点灯	ラベルエンドを検知した状態を表します。	ラベルを交換すると、印字再開と表示しますのでFEEDキーを押してください。

5	カバー オープン	赤色 点灯	カバーが開いている状態を表します。	カバーを閉じてください。
6	ヘッド 切れ	消灯	ヘッド切れを検知した状態を表します。	電源が入っている時に、常に表示されます。いずれかのキーを押すとラベル発行はできませんが、サーマルヘッドの故障です。販売店またはメーカーにご連絡ください。
7	マーク エラー	赤色 点灯	マークを検知できないときの状態を表します。	データに合ったラベルがセットされているか確認してください。 ラベルを正しくセットし、FEEDキーを押してください。
8	時計 電池交換	消灯	内蔵時計のバックアップ電池の電圧が低下した状態を表します。	メーカーにご返送ください。
9	電圧低下	赤色 点灯	バッテリーパックの電圧が低下した状態で、そのまま放置すると電源が切れます。	バッテリーパックを交換してください。

16 本体仕様

仕様／モデル名		Happy Pri
印字部	印字方法	サーマルペーパーによる感熱記録方式
	解像度	8 dot/mm (203dpi)
	印字速度	最大 90mm/秒
	有効印字範囲	幅 48mm x 長さ 100mm
メモリ	登録件数	最大 40件
外形寸法	縦 146mmX 横 85mmX 高さ 76mm (突起部を除く)	
重量	310 g (バッテリーパックを除く)	
電源	AC100 ~ 240V 50/60Hz 出力 : DC9V 5A	
表示部	LCD	128 × 64 ドット グラフィック LCD (バックライト付)
	LED (3 個)	Power (緑) Status (赤) Charge (オレンジ)
操作部 (4 個)	Power スイッチ FEED キー	PRINT キー MODE キー
通信方式	当社独自コマンド方式	

インターフェース	USB(mini-B) Rev. 1.1 準拠 (Full Speed) Bluetooth(オプション) : Ver2.0 + EDR (クラス2準拠) 通信可能距離 10M	
発行方法	連続発行 剥離発行	
ラベル	ラベルサイズ	幅 24 ~ 57mm (ラベルの場合/台紙幅) 長さ 16 ~ 100mm
	ラベル外径	最大 70mm
	種類	裏マーク ギャップ マークなし ※巻き方向 : 表巻き専用
バーコード シンボル	JAN/EAN-8/13 UPC-A/E ITF CODE39 CODE128 NW7	
2次元コード	QR PDF417 GS1 DataBar	
文字フォント	パソコン搭載のフォント	
自己診断機能	エラーを LCD 表示	



Shinsei

株式会社

新盛インダストリーズ

本社

〒114-0004 東京都北区堀船4-12-15

TEL(03)3913-0131 FAX(03)3913-9607

大阪営業所

〒540-0015 大阪市中央区十二軒町4-2 岸本産業谷町ビル

TEL(06)6765-4381 FAX(06)6765-4382

<http://www.shinseiind.co.jp/>

MM0506-3